

①

「この本、おすすめします」
・めあて：下級生が、「この本、読んでみたい」と思えるような本の推薦文を書く。

②

今日の学習活動
1 すいせん文の内容(表)とレイアウト(裏)を見比べて、下級生が「読んでみたい」と思える内容になっているかチェックしよう。
○裏の振り返りの下の余白にコメントを書く 1人当たり6分

③

チェックの手順
1 レイアウトと内容を見て、下級生の立場に立って「読んでみたい」と思うかチェック
2 実際の本を読む(流し読み)内容に誤りがないか、「こうした方が、もっと読みたくなる。」などの具体的なアドバイスを!

2 レイアウトを修正
3 清書
鉛筆で下書き
色を付ける(色鉛筆)
ペンで仕上げる
4 友達に批評してもらう

あっというまに
生きものはかせ

「にたものずかん どっちがどっち!」
今泉 忠明 監修 高岡 昌江 文 友永たろ 絵

この本は、チャーターとヒョウなど似ている生き物の違いを絵を使って分かりやすく説明した本です。おすすめしたい理由は2つあります。

おすすめポイント①
身近な生き物よく知っているつもりでも、生き物についての意外と知らないひみつを知ることができます。読むと必ず友達に知らせたくなります。

おすすめポイント②
たくさんの情報が読みやすく分かりやすい形です。この図鑑は絵が大きくて読みやすいです。また、似ている動物の絵や情報を右のページと左のページに並べて載せているので比べて読むことができ、とても分かりやすいです。

この本を読めば、あなたも生きものはかせ

8:45 アサイン ④
T「めあて」を以てして、
見るの。?

見取の工夫は
C 読みやすく、T目を引く

T 題名 編者名...
本の紹介...

C2 全体 T全体像を...

T内容を必ずつらに
お読みポイントの中に
入れる必要がある。
入れ忘れ注意! ⑤

T読みたいと思う? C...
T読みやすい工夫

C3 表紙 帯の付いている
T様々を見出し C4 表
紙の工夫...

この本を読んだ読者の
コメント
T今日の学習活動

レイアウト
実物体)を置いてみる

Tコメント 2種類 アサイン
C1 表紙の工夫

T「めあて」を以てして、
見るの。?

T1人当たり6分 打撃
スリッパ付けて下見。はさ

8:52
C4 T「読みやすい」
C5 T「読みやすい」

T読んでみる時、まず
お読みポイント

T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

C6 表紙の工夫
SDGsと関係している
具体的な物と法はす
ないことは、
レイアウトで読者の
目線を引く

C7 表紙の工夫
読者の目線を引く
レイアウトで読者の
目線を引く

9:06
C7 表紙の工夫
読者の目線を引く
レイアウトで読者の
目線を引く

9:12
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

9:15
C4 表紙の工夫
読者の目線を引く
レイアウトで読者の
目線を引く

9:25
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

9:35
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

9:45
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

9:55
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

10:05
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

10:15
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

10:25
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

10:35
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

9:25
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

9:35
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

9:45
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

9:55
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

10:05
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

10:15
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

10:25
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

10:35
T「読みやすい」
C...
T「読みやすい」

○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

① めあて=具体的行動
目標で設定されている。

② 学習計画が明示され
あり、見直しをもて
学習活動を行うことが
できる。

③ 学び合い(チェック)の
視点、進め方が明
示されている。

④ 落ち着いた雰囲気
(学習環境)で
スタートできている。

⑤ 学習活動・チェックの
手順、視聴覚の
両感覚を通して
確認している。

⑥ 机間指導を
通して把握して

⑦ 具体例を紹介する。(コメントのよさ)

⑦ 友だちの「おすすめ文」を熱心に読み
アドバイスをしている。

⑧ 振り返り(メタ認知)の場が設定されて
いる。

⑨ ~例えは「どういう前作の」
記述させた。

⑩ できれば、次の時間の冒頭に、良い、するどい「メタ認知」の内容を紹介する。